



桃原秀雄町長

はじめに

はいさいぐすーよーち
ゆうーがなびら。

令和6年3月定例会の開
会にあたり、議員各位のご
健勝を心からお喜び申し上
げますとともに、日々のご
精励に対し深く敬意を表し
ます。

令和6年度の当初予算案
などの重要な議案の審議に
先立ち、町政運営に対する
所信の一端を申し述べ、町
民の皆様並びに議員各位の
御理解と御協力を賜りたい
と存じます。

まず、施政方針を述べる
前に、このたび石川県能登

地方を震源とする令和6年
能登半島地震によりお亡く
なりになられた方々に謹ん
でお悔やみ申し上げますと
ともに、被災された皆さま
に心からお見舞い申し上げ
ます。

また、被災者の救済と被
災地の復興支援のために尽
力されている方々に深く敬
意を表します。

被災地では、相次ぐ余震
と寒さの中、不安が募る状
況が続いておられますが、
皆さまの安全と、一日も早
い復興をお祈りいたします。
本町としましては、沖繩
県や県内市町村の動向を踏
まえ、何らかの支援を検討
してまいります。

さて、町政運営を進めて
いく中で重要な国の動向に
ついてですが、昨年閣議決
定された骨太の方針の中
では、四半世紀にわたるデフ
レ経済からの脱却、急速に
進化する少子化とその背景
にある若年層の将来不安へ
の対応、雇用形態や年齢、
性別等を問わず生涯を通じ
て自らの働き方を選択でき、
格差が固定されない誰もが
暮らしやすい包摂社会の実
現、気候変動や新型コロナウイルス

ウイルス感染症の経験を踏
まえた持続可能な経済社会
の構築など、我々の意識の
変化や社会変革を求める構
造的な課題に直面している。
我が国は、こうした「時代の
転換点」とも言える内外
の構造的な課題の克服に向
け、大胆な改革を進めるこ
とにより、新時代にふさわ
しい経済社会を創造してい
かなくてはならないとされ
ております。

また、次元の異なる少子
化対策として、(1)構造的賃
上げ等と併せて経済的支援
を充実させ、若い世代の所
得を増やすこと、(2)社会全
体の構造や意識を変えるこ
と、(3)全てのこども・子育
て世帯をライフステージに
応じて切れ目なく支援する
こと、の3つを基本理念と
されております。

沖繩県におきましては、
令和6年度は、「新・沖繩21
世紀ビジョン実施計画（前
期）」の最終年度となり、施
策などの成果の発現が求め
られる重要な年となります。
このため、変化する社会
情勢や県民ニーズを的確に
とらえながら、自立的発展
と住民が豊かさを実感でき

る社会の実現を目標とする
「新・沖繩21世紀ビジョン基
本計画」の取り組みを加速
させ、誇りある豊かな沖繩
の未来に繋げていくとされ
ています。

昨年を振り返りますと、
ロシア・ウクライナ戦争を
始め、世界各地で長期化し
ている紛争など、命の大切
さや平和について深く考え
させられる年でありました。

一方、嬉しい出来事として
は、新型コロナウイルスの状
況変化に伴い、外に出て人と
笑顔で語り合える機会が増
えてきたことではないでし
ょうか。久しぶりの知人友人
との再会や、地域の行事等が
各地域で開催されたことで、
大勢でイベントを楽しむ時
間を享受されたりと、多くの
人が待ち望んでいた日々が
戻ってまいりました。町民の
皆様それぞれにとって、楽し
いひとときを過ごすことが
できたのであれば、嬉しい限
りです。

ここからは私の町政運営
の基本的な考え方を申し上
げます。

本町の自然環境及び景観

は近年のマツ材線虫被害に
より深刻な影響を受けてい
ます。健全で豊かな自然環
境の保全は町民が健康で文
化的な生活を営む上でも重
要であり、この恵まれた自
然環境を次世代に引き継ぐ
ためにも啓発活動として「ホ
タルとサングの島」宣言を
行うなど町民が一体となっ
て保全活動に取り組める環
境を醸成してまいります。



久米島のさんご 写真提供：地域おこし協力隊（産業
振興課所属） 黒木恭子氏

長年の懸案事項であった
老朽化した学校給食センタ
ー及び仲里歯科診療所は、
更新の目的が立ち、さらに
デジタル化への流れに対応
するため行政手続きの押印
見直しを行うとともに自治
体DX計画も策定しました。
新たなごみ焼却施設につ